

若松池<sup>わかまつのいけ</sup>

〔むかし五条大納言<sup>くにつなきやう</sup>邦綱<sup>わかつつ</sup>卿<sup>のてい</sup>山莊<sup>わかつつ</sup>若松亭<sup>のてい</sup>ありて林泉に大池あり、故に此名あり。旧跡は滑谷路の南阿弥陀が峯

の西北の麓にあり、今田圃となる〕

宗長日記云　大永六年十月十日下京に出てあすは天津までといふ（中略）若松の池しる谷しら浪さはぐなどいへば、

送の人あまたして三井寺<sup>しやうざう</sup>勝蔵<sup>ばう</sup>坊<sup>やまし</sup>山科<sup>しなく</sup>花山<sup>わさん</sup>までむかへんとて、人おほくぐして若衆誘引、先こゝろをのべしなり。京

よりの人をかへし、神なしの森を過関屋の軒端みゆ。